

平成30年度から すべての学校で 「がん教育」が始まります！

体育保健課



がん教育の必要性

学校における健康教育においては、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育成することが重要です。近年、疾病構造の変化や高齢社会など、子供たちを取り巻く社会環境や生活環境が大きく変化しています。特に、日本の死亡原因の1位であるがんについて、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育は不十分であると指摘されており、**子供たちががんについて関心を持ち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるようにすることが求められています。**

がん教育の目標

【がんに関して正しく理解する】

がんが身近な病気であることや、がんの予防、早期発見・検診について関心を持ち、正しい知識を身に付け、適切な対処ができるようになる。

【いのちの大切さについて考える】

がんについて学ぶことや、がんと向き合う人々を知ることを通じて、自他のいのちの大切さを知り、生きることについて考える。

「がん教育」は、教科担任、学級担任や保健主事などが協力して健康教育の一環として学校教育活動全体で取り組むものです。

文部科学省では、がん教育の方向性を示し、がん教育推進のための映像教材や、すぐに使えるプレゼンテーション教材を作成しています。熊本県では、現在、中学校・高等学校の「保健」の授業を中心に取り組んでいただいておりますが、平成30年度からすべての学校での実施をお願いしています。まずは、文部科学省作成の教材を確認していただき、「がん教育」の充実に向けて積極的に取り組んでいきましょう。

また、「がん教育」を進めるにあたっては、地域や学校の実情に応じて外部講師の協力を得ると効果が高まります。がん経験者や医療関係者等の外部講師を活用した教育の推進もご検討願います。

★文部科学省のがん教材や外部講師活用については、熊本県教育委員会のホームページに掲載しています。また、教材や様式はダウンロードできますので、是非ご活用ください。



熊本県教育委員会 HP → 健康教育 → がん教育関係